

赤嶺謙二



あかみね けんじ

質

職員の不祥事は、一瞬にして市民の信頼を失う。
綱紀粛正の具体策は。

答 総務部長

今回逮捕された職員は、事実確認を行ったうえで厳正な処分、幹部職員も責任を明確にし、処分します。
現在、部局の枠を超えた「危機管理対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、指針を策定中です。

平和の願いを
広げよう

～市の姿勢を発信～

質

核兵器廃絶に向けて、世界各国の都市が連携する「平和市長会議」に加盟する考えは。

答 市長

平成17年に「非核平和都市宣言」を行っている。
加盟する方向で検討。

不祥事の根絶を

～特別対策班を設置～

質

管理者の対応も重要となる。
人間関係や職場環境など、対応能力が問題では。

答 総務部長

倫理規程に、良好な職場環境の醸成・維持が規定されており、福利厚生や懇親会、班ミーティングの定期開催など、さらに意思疎通を図っていききたい。



毎年、長崎の平和集会に参加しています。

病院の経営は、医師は

～県と市でさらに協議～

後藤章子



ごとう あきこ

質

① 公立おがた病院を核とし、県立三重病院を診療所等にする
ことを県と合意した
が、経営主体は。



診療所となる予定の県立三重病院

② 三重病院の土地・建物などの取り扱いについて、県の意向は聞いているのか。
③ 医師確保の見通しは。

答 保健福祉部長

① 経営主体については、県と協議中。
② 県の財産であり、その考え方は示されていません。

答 市長

③ 統合後の医師数については、県と共に確保に努める。

質

市政への参画と職員の意識改革
～関係する部課で対応～

支所長などを含め全幹部職員を、なぜ政策決定に参画させないのか。

答 総務部長

担当及び関係する部課長を含む職員で議論しているが、必要に応じて支所長などに参加してもらうこともある。
職員の意識改革については、倫理観・使命感の醸成に努めたい。